

# 社会インフラを守る 3Sセグメント工法

1948年に設立されたプラスチック製品のトップメーカーである湘南合成樹脂製作所は、下水道管の革新的な再生方法を開発した。

プラスチック成形、金型設計、非開削工法を得意とする(株)湘南合成樹脂製作所(以下、湘南合成)は、日本企業の基本理念である「モノづくり」にこだわっている。



φ2000mm L=224.2m

社長の神山氏は「モノづくり」とは、市場の要求に応えることでもありと考えている。社長の神山氏は「モノづくり」とは、市場の要求に応えることでもありと考えている。「日本のモノづくりの本質は、お客様や社会から必要とされるものを、高い品質で作り上げることだと思います」と神山氏は言う。



「日本のモノづくりの本質は、お客様や社会に必要とされるものを高い品質で作り上げることだと思います」

株式会社 湘南合成樹脂製作所  
代表取締役  
神山 卓大

「創業者である私の父は、戦後のプラスチックの潜在的な需要を予見し、1948年からプラスチック事業を開始しました。以来、電気・機械・自動車関連の機器等々のプラスチック部品を設計・製造してきました。

これらの基盤技術をベースとして、老朽化した社会インフラの中で下水道管等の管路のリニューアルに着

眼し、力を入れてきました」下水道管再生の鍵となるのは、半透明のプラスチック製セグメントを下水道管の内側に組み立て、セグメントと既設管の隙間にセメント系充填材を注入するという、最先端の「3Sセグメント工法」だ。

この工法は、従来の掘削工法に比べて2倍のスピードで作業が



φ2600mm L=102.2m



φ2000mm L=224.2m

できるという。「本工法は施工時に大規模な機材を必要としないので、トラックの台数も少なく済み、環境に優しいという特徴もあります」と、神山氏は加える。

すでにタイに工場を設立している湘南合成は、今後の海外展開として、アメリカに加えて東南アジアにも目を向けている。「現在、これらの国々で製品を販売するための戦略を立てています」と神山氏は語る。

 SHONAN PLASTICS MFG. CO.,LTD.  
[www.shonan-gousei.co.jp](http://www.shonan-gousei.co.jp)